

Step to the Future

～ 未来への一歩

私立高校の受験をひかえて

先週の20日(金)に私立高校の入学願書を郵送し、出願が完了しました。
(一部の私立高校につきましても出願期間がききましたら順次、郵送します)
今年は多くの高校がWeb出願を取り入れたことで、すでに受験票が手元にある人もいますが、多くの高校では今週から来週にかけて受験票が中学校に送られてきます。実際に受験票を手に取り、受験番号を見ることで、改めて「受験本番なんだな」と感じる人も多いのではないのでしょうか。

新年が明けてからも新型コロナウイルス感染者の増加や去年は流行しなかった季節性インフルエンザにより不安な日々が続いています。そのため、高校受験にも例年とは異なる点が数多くありますので、受験票と一緒に配られる注意事項等にも十分に目を通しておいってください。

進路通信26号でもお知らせしました通り、以下の高校の受験につきましては教員による引率を予定しております。

それ以外の高校ではJR魚住駅での確認または保護者に同行をお願いすることをご了承ください。その際は利用される交通機関等を事前にお知らせください。

教員による引率予定

神戸野田・育英・須磨学園・兵庫大学附属須磨ノ浦・神戸星城

神戸村野工業・神戸常盤女子・滝川第二・神戸国際大学附属

公立高校の推薦入学・特色選抜を受検するみなさんへ

1月23日(月) 6校時に被服室で出願書類等の説明を行います。公立高校の願書は私立高校と違って手書きが中心となります。記入事項に不備があれば受け付けてもらえないこともありますので、説明をよく聞いて完成させるようにしてください。

公立高校の学力検査の受検を予定している人は、30日(月)に出願書類等の説明を行います。県立高校の受検料は兵庫県の収入証紙で支払いますので、早めに準備をしておいてください。(進路通信・学年通信参照)

面接練習について

20日(金)から一部の私立高校や公立高校の推薦入学や特色選抜を希望している人の面接練習が始まりました。今後も、23日(月)・25日(水)・27日(金)と追加で30日(月)の4日間が予定されています。

ここで初日の練習を終えた感想を伝えたいと思います。予想通り多くの人が緊張のあまり「ドアの開け方や閉め方」、「立ったときの姿勢や礼の角度」などまだまだだったように思います。質問に対する答えも、「定番の質問にはなんとか答えられた」ものの、「ちょっとひねられた質問」や「自分の回答にさらに突っ込まれた質問」については、しどろもどろになってしまう場面も見られました。だからと言って必要以上に自信を失うことはありません。だれしも最初はコツがわからず、上手にこなせる人の方が少ないのですから。

大切なことは、上手くいかなかったこと(失敗したこと)から学び、次に向けてどのような準備をするかだと思います。それは面接や学習だけでなく、きっとこれからのみなさんの将来にも大きな影響を及ぼすことになるでしょう。もう一度、志望理由や自分の夢(目標)について考え、質問に対する回答(できれば、後で追加できる内容)も準備しておきましょう。

面接練習を受けた人には本番終了後に報告書を提出してもらいます。今回の面接練習で聞かれた質問の多くは、みなさんの先輩が残してくれた報告書から多くの質問を利用しています。より本番に近い練習ができているのはそういった理由があるのです。自分のためだけでなく、今後の後輩のためにも素晴らしい先輩であってほしいものです。

面接の資料は全員に配布しましたが、これにはある「ねらい」があります。面接がないからといって、試験官は受験生(受検生)を見ていないわけではありません。テスト中の行動はもちろん、グラウンドや体育館に集合している姿や休み時間の様子、ひょっとしたら最寄り駅から高校までの途中をさりげなく見ている可能性もあるのです。3学期になって生徒会や風紀委員が中心となった校則の見直しが実施されています。ある程度の自由が認められた中にも一定の限度は必要だと思います。

今までは「魚住東中学校の生徒のひとり」という見方から「魚住東中学校の生徒の〇〇 〇〇さん」という、より個人を見られるように変わってきているのではないのでしょうか。

「魚住東中学校」という集団に所属していることに誇りを持ち、その上で「一個人としての〇〇 〇〇」を精一杯アピールして欲しいと思います。